

「出題の意図」

選抜区分	2025年度 （選抜区分：学校推薦型選抜・全国推薦） 外国語学部 英米学科 （科目名：英語による面接）
出題の意図 （評価のポイント）	【面接への姿勢】 近年、面接試験における学生のパフォーマンスはより良くなっている。多くの学生にとって面接は難しいものであり、初めてのテスト形式の口頭面接であるかもしれないが、私たち面接官は受験生にリラックスしてストレスを感じないように努力している。学生がストレスを感じると、通常のレベルでのパフォーマンスができなくなることがある。 【求める能力】 面接ではネイティブスピーカーレベルの習熟度での会話を期待しているのではない。会話の中で文法的でミスが出る程度は構わないが、それよりも求められるのは、論理的に考え、自分の考えを英語で表現できるということである。話す相手（英語のネイティブスピーカーか高度に熟達したほぼネイティブ・スピーカーの3人）のことを考えながら、理解切るように自分の発言を調整できることが求められる。 【会話表現実例】 取り上げる話題はごく一般的なもので、普段の自分の考えを英語で伝えることができるかということが重要である。とは言え、例えばお正月に何をするかという質問をされた場合、日本語が母国語じゃないスピーカーに「お年玉」や「おせち料理」の言葉をそのまま使っても理解されない。こうした場合にどのように表現すれば伝わるかをよく考え、工夫してわかりやすく伝える能力が必要となる。こうした点は審査の際のウエイトが大きい。